

医療費を節約しよう

家族のだれかが病気をして入院したり、思わぬ事故でけがをしたりしたとき、医療費の問題があります。

不時の医療費に備えて、わたしたちがふだんからお金を出し合い、病気、けがなどの際お互いに生活上の困難を助け合おうという目的から生まれたのが健康保険の制度です。国保制度は国の補助金と保険税で運営されています。

医療費が増えると保険税も値上げしなければならぬという関係にあります。

医療費を節約することによって税の負担も軽くなります。

国保加入者は十二月一日現在で三、一三〇人で全人口の四十四%を占めています。

六十年間一年間の医療費は二億四千七百万円となっており一人当りの医療費は一般被保険者一〇、一一四円、退職被保険者二二一、二一九円、老人四〇三、〇三九円となっております。

本年度になり医療費が増加し前年に比べ半年間で二十四%の上昇となっております。国保会計の危機を迎えています。このまま医療費が増加しつづけますと六十二年度

には大幅な保険税の引き上げが予想されます。

医療費 節約のために

病気がなったり、けがをした場合、お医者さんにかかるのは当然のことですが、その場合でも心構えや考え方によって医療費は大きく違ってきます。次のようなことを心がけましょう。

① まず健康づくり

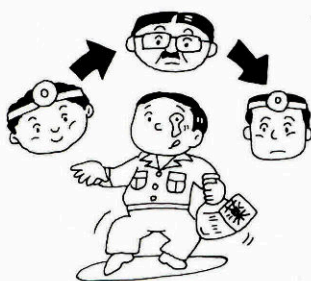
医療費節約の基本的対策はまず健康づくりです。偏食しないでバランスのとれた栄養をとる。適度の運動を欠かさない。過労を避け充分な睡眠と休養をとる。

つまり、からだに抵抗力をつけ、少々の病気ははね返す体力をふだんからつくっておきましょう。



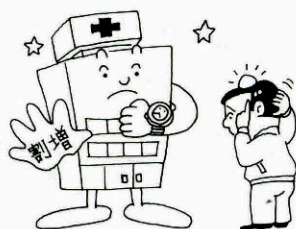
② ハシゴ受診をやめよう

ちょっと病状がはかばかしくないからといって、すぐ他のお医者さんにくらがえする。あるいは同じ病気で同時に二人も三人もお医者さんにかかる。こういうハシゴ受診は医療費の無駄づかいの最たるものです。



③ 深夜・休日・時間外

深夜、休日、時間外に受診すると大幅な割増料金をとられます。なるべく平日の時間内に受診するよう心がけましょう。



61年度自治会受診状況 検診で早期発見を

健康は、これを失ってから、その価値を発見するといわれています。健康なときは、かえって健康のありがたさがよくわからないものです。そして、その健康は、病気をしないことではなく、心身ともに最良の状態に保つことでもあります。病気はときとして避けられないものですが、とくに成人病は早期に見つけることによって、どれほど幸せな健康生活を送ることが出来るか、そのため町では、毎年、種々の検診を実施しました。その結果についてお知らせします。一年に一回検診を受けて自分の健康を確かめましょう。

胃ガン検診受診者

- ベスト4
 - ① 中畑
 - ② 向開作
 - ③ 辻並
 - ④ 一の瀬
- ### 乳ガン・子宮ガン検診受診者
- ベスト4
 - ① 向山
 - ② 向開作
 - ③ 中畑
 - ④ 下中野

昭和61年度 高血圧、心臓病検診受診状況 (自治会別)

